
夢と現実

御子神 奏

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢と現実

【Nコード】

N18670

【作者名】

御子神 奏

【あらすじ】

目が覚めたら教室に居た。

そこにはクラスメイトの死体。
私が手に握っていたのは血塗れの包丁。

目が覚めたら自宅の自室。

リビングには血の海と、家族の死体。

助けを求めに外に出たら後ろから刺された。

目が覚めたら病院の個室。

そこには姉が居た。

なんでも授業中の教室に「包丁」を持った男が押し入ったらしい。

一体、何が「夢」で何が「現実」なのだろうか。

！注意！

この作品にはグロテスクな表現が含まれます。

苦手な方は回れ右をお願いしますm(_____)m

目が覚めるとそこは教室。
ふと辺りを見回すと、自分の周りには…

クラスメイト達の死体があった。

「何…？これ、なんで…
私は震える手に何か握っていた。

私が握っていたのは
血塗れの包丁。

「！！！」

カラン、という音をたてて、私の手から滑り落ちる。
手にはまだ生温かい血がべっとりついていてる。

何がなんだか、わからない。

何故、目が覚めたら教室に居たのか。

何故、クラスメイト達が死体になつて転がっているのか。

何故、血の海と化した床に座り込んでいられるのか。

何故、何故、何故、何故。

ガタガタと身体が震える。

頭の中で【何故】という言葉が絶え間無く浮かぶ。

「どうして…なんで…？何…これ…」

周りを見る限り、私以外に「生きている」人間はいない。

でも、声が、私以外の声が聞こえる。

私の後ろから、よく知ったソプラノの音が響く。「どうして？なん
で、こんな事をしたの？ねえ、華蓮……」

ゆっくりと振り向く。

「実里……？」

私が名前を呼ぶと悲しそうに微笑む。

「どうして？なんで、こんな事をしたの？華蓮……」

実里は同じ言葉で繰り返した。

今までもろくに実里を見ていなかったけれど、見てしまった。

正直、見ない方が良かった。

左肩から右脇腹にかけて、ざっくりと深い傷を負った、血塗れの実
里。

普通に考えて、致命傷になっている。

しゃべることが、ましてや起き上がれるはずがない。

「……え……？み、実里！傷、どうしたの？！一体誰が……」

実里はただ悲しそうに微笑むだけで答えてくれない。

答えは、違う方向、違う声が返してくれた。

「あなたがやったのよ。校倉さん」

声のする方を見ると、評議委員の千果ちゃんが居た。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1867o/>

夢と現実

2010年10月12日22時26分発行